令和8(2026)年度　企画展

写真展　非平和展

尊厳を視点として



ミャンマーからバングラデシュに逃れてきた人々を収容する世界最大級の難民キャンプの空撮写真(バングラデシュ南東部のコックスバザール)。
2025年11月25日(AP Photo/Mahmud Hossain Opu)

開催期間:令和8(2026)年 11月7日(土)～12月6日(日)

開催期間中の休館日: 11月9日(月)・16日(月)・17日(火)・24日(火)・30日(月)

開催場所: 川崎市平和館 1階 平和の広場

入場無料

開館時間: 9:00-17:00

主催: 川崎市平和館

Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市

KAWASAKI SDGs
川崎市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

～アクセス～
JR横須賀線・南武線、東急東横線・目黒線「武蔵小杉駅」、東急東横線・目黒線「元住吉駅」からそれぞれ徒歩約10分



～お問い合わせ先～
川崎市平和館: 川崎市中原区木月住吉町33-1 Tel: 044-433-0171　Fax: 044-433-0232

「非平和展　尊厳を視点として」について

「平和学」において、平和を測る大切なモノサシとなるのは「基本的な人間のニーズ」です。命が脅かされないこと、満たされること、学び、自らの言葉や表現の自由を守ること－－－すなわち誰もが「尊厳ある生（人権）」を享受できているかということです。

人類は幾多の苦い経験を経て人権の考え方を確立させましたが、残念ながら今もなお、誰もが等しく尊厳を守られているとは言えません。

本企画展では、「写真」という直感的な表現を通して、戦争、差別、貧困、環境破壊といった尊厳の損壊の現実に迫ります。一枚の写真が投げかける問いから、共にこれからの平和を考えてみませんか。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

ソニータ



(c)Behrouz Badrouj

監督：ロクサレ･ガエム･マガミ　製作総指揮：ゲルト・ハーク
出演: ソニータ・アリザデ　　配給: ユナイテッドピープル
91分/ スイス・ドイツ・イラン/ 2015年/ ドキュメンタリー

アフガニスタンから逃れ、イランで暮らす少女ソニータは、ラッパーになることを夢見ている。しかし、女性が公共の場で歌うことが許されないイランでは、夢を追うこともままならない。ある日、アフガニスタンにいる家族は、16歳の彼女を知らない男性に嫁がせようと決断する。古くからの児童婚という因習と、夢を諦めたくないジレンマに葛藤する中、ソニータは胸に秘めた悲しみや怒りを魂のラップにして歌い上げ、自らの運命を切り開いていく。

上映日: 令和8(2026)年11月21日(土)
上映開始時間: 14時～(91分)　　無料
上映会場: 川崎市平和館　1階平和の広場

お申し込みは右の二次元コードから→


(c)Behrouz Badrouj


(c)Behrouz Badrouj

要申込: 先着40名様　二次元コード、川崎市平和館HPのフォーム、お電話(044-433-0171)、またはFAX(044-433-0232)でお申し込みください。(定員に達し次第締め切り)